

メルマガ「とちぎ通信」 第8号 ~2014年5月14日~

2014年 春

県人会の皆様、いかがお過ごしですか。
栃木県では県花「ヤシオツツジ」が見ごろを迎えています。

リトアニア大使知事表敬

エギディウス・メイルーナス駐日リトアニア共和国特命全権大使が来県し、知事表敬を行いました。リトアニアで最も盛んなスポーツはバスケットボールですが、栃木県でもリンク栃木ブレックスの活躍でバスケットボールは人気があります。ブレックスのヘッドコーチのアンタナス・シレイカ氏がリトアニア出身であるという縁から、大使は前日に県内で開催されたブレックスの試合も観戦されました。



▲エギディウス・メイルーナス駐日リトアニア共和国特命全権大使（左）と福田富一知事

国際交流員の紹介

○Hello！ クリストファー・カレンと申します。
アメリカ合衆国のミネソタ州出身で、2012年から国際交流員として働いています。いろいろなテーマについての講座やプレゼンテーションを行い栃木県の国際化を推進します。更に、県外でPR活動を行って、多くの人々に栃木県の魅力を紹介します。栃木県の代表として一生懸命頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

○大家好！中国から来た方倩(ホウ セイ)です。
この4月から国際課に勤務しています。浙江省金華市の出身です。今年は金華市と栃木市が友好都市提携をして20周年を迎えます。来日するまでは、日中間の友好交流事業をしていました。

栃木県では、多くの県民の方々とお会いし、互いに学び合い、日中友好・平和のために、交流を進めていきたいです。



◀ 県花ヤシオツツジ

「浙江省経済交流促進機構」来県

平成26年(2014年)4月15日(火)、本県の友好交流先である中国浙江省から、「浙江省経済交流促進機構」の方々3名が、来県しました。



▲「浙江省経済交流促進機構」による産業労働観光部長訪問（左から3・5・6番目が、同機構の陳・孫・金氏。4番目が荒川産労部長）

「浙江省経済交流促進機構」は、本県と浙江省の間で経済交流を促進させるための浙江省側の窓口となる政府関係機関です。

今回は、本県企業による浙江省周辺地域への進出支援や、両県省間の企業マッチングなどの経済分野での交流をさらに促進させるために来県したもので、栃木県庁や県内企業を訪問し、協議を行いました。

平成26年度国際課事業

国際課の新しい事業をご紹介します。

「災害時における多言語支援体制整備事業」災害時多言語支援センターを設置運営するためのマニュアル作成と多言語医療情報の提供を行います。「海外ビジネス支援事業」県内の輸出入関連企業や新たに海外展開を図る中小企業の支援としてとちぎ海外展開推進協議会を設置します。「海外販路開拓支援事業」海外販路開拓のための国際見本市への出展を支援します。今年度はシンガポールやタイの国際見本市への出展も支援します。「グローバル企業人材確保支援事業」海外展開を目指す県内中小企業とグローバル人材との就職マッチングを支援します。

詳しい内容については、これからの「とちぎ通信」で紹介していく予定ですので、お楽しみに。

現地名 Peru Tochigi Kenjinkai
(日本語名称に同じ)

設立年月日 1982年1月27日

所在地 ペルー共和国
リマ市

会長 笹川ルフィーノ

会員数 87人 (26世帯)

(2014年4月末現在)

皆さん、こんにちは。南米ペルーの首都リマよりペルー栃木県人会の活動をご紹介します。5月は日本では新緑の季節ですが、地球の反対側のここリマは晩秋です。気温こそあまり下がりませんが、リマの街はガルアと呼ばれる白い濃霧に包まれてひんやりした朝を迎えます。これから冬に入り、8月の終わりまで太陽の光がなかなか見られない少々憂鬱な日々が続きます。

当県人会の会員は栃木県出身者および栃木県出身移民の2世・3世とその家族で構成されており、主にリマの日系人協会と連携して活動しています。今回は特に、私たちが長年

参加している最も大きいイベントである日本文化週間についてご紹介したいと思います。

日本文化週間は日本の祝日、文化の日にちなみリマで毎年11月に開催されます。日本大使館・日系人協会・各種日系人団体等が協力して行うイベントで、茶道やマーシャルアーツの実演、コンサート、シンポジウム、日本語弁論大会など様々な文化行事が催されます。

数ある催しの中でも日本人・日系人のみならず地元のペルー人にも特に人気が高いのが FERIA GASTRONOMICA という日本料理フェスティバルです。リマで活動する多くの県会がこぞってご当地グルメよろしく自慢の料理を準備して一般のお客様に即売するのですが、毎年開場前から入り口に行列ができるほどの人気です。その中でも栃木県人会が作る料理はおいしくて値段が手ごろ、しかも楽しさと意外性があると評判で毎年あっという間に売り切れてしまいます。材料の買出し・調理・販売の陣頭指揮を執るのは副会長の天谷美恵子さんで、その料理の腕前は皆の認めるところ。ちなみに前回の料理はジャガイモ入り焼きそばでした。



▲ペルーで開催された「日本文化週間」での模擬店出店の様子
(写真提供：ペルー新報社)



▲日本大使館・ペルー日系人協会連名による
出店団体への感謝状贈呈
(写真提供：ペルー日系人協会)

昨年末、和食がユネスコの無形文化遺産として登録されるという喜ばしいできごとがありました。昨今ペルーでも和食の人気は急上昇。ペルーは近年目覚ましい勢いで経済成長を続けており、それに伴って人々の消費行動にも変化が出ていますが、おいしいものに目が無く新しもの好きのリマっ子たちは新しい食の傾向に敏感で和食レストランはどこも盛況です。

今後も会員全員で協力しながらこの活動を続けてゆくとともに、これからはできれば活動の形態を進化させて栃木の「食」をアピールしながら日本人・日系人社会の中のみならず、ペルー社会全体に向けて栃木県のプレゼンスを高めてゆけたらと考えます。